



子どもたちの成長のために考えること

校長 藤森克彦

例年ですとこの時期は、秋の気配を感じるころですが、まだまだ残暑の勢いが収まらないようです。今年の夏は猛暑に加え新型コロナウイルス感染防止への対応も続き、体調管理も難しかったと思いますが、子どもたちに大きな事件事故もなく新学期を迎えることができうれしく思います。

さて、緊急事態宣言が9月12日まで延長され、すでに先日の保護者メールにて今後の学校行事等の中止や変更等についてお知らせいたしました。特に6年生の日光移動教室は、1学期実施予定を延期し、区内小学校間で再調整して9月実施できるよう準備してきましたが、感染の厳しい状況は変わらず、残念でなりません。また、今年こそ皆様にご覧いただけるよう大一体育祭を10月9日（土）に予定しておりましたが10月15日（金）に延期し、区教育委員会のガイドラインに従って、昨年度同様無観客による全学年4色対抗を実施することにいたしました。

学校行事は直接教科の学力向上に通じるものではありませんが、発達段階に応じた活動を通じた豊かな体験や経験の場は、子どもたちの心身の成長にとって大切なものです。友達同士や異学年、異集団の中で様々な体験や経験を通して得られた達成感や満足感が自信となり、次への意欲の源となっていきます。時には失敗の経験もあるかもしれませんが、まさに学童・学生時代にしかできない「生きて働く力」の一つだと考えます。

従来そうした教育的意義を踏まえ、学校では学校行事を「あって当たり前」のこととして定常的に進めてきました。しかし、昨今様々な教育課題が増えてくる中で、学校行事が他の教育活動や児童に対して負担増であると課題になり、学校行事を精選、コンパクト化していこうとする動きが起きました。現在はコロナ禍により、それぞれの学校行事の価値を判断することもなく、その活動形態のみで「できるかできないか」を判断していかなければならなくなりました。宿泊的行事で衣食住を共に生活できる貴重な体験が、一転してリスク大となります。また体育祭は、先輩後輩みな一丸となって励まし合い共に笑い共に泣く、そんな貴重な機会であり、その姿を保護者地域の皆様と共有し合い、皆が一体となるものです。それが「密」であるとなれば致し方ありません。

今は新型コロナの一日も早い収束を懇願し、安全に配慮しつつ普段の教科指導や学級活動、市民科などを通して、集団生活でしか学べない豊かな社会性・人間性を目指す教育活動を今後も進めてまいります。

ところで、この夏東京オリンピックでは日本人の活躍が連日のように報道されていました。メダルをとったときの選手たちの感動も印象的で、競技が終った後のインタビューからは、夢に向かって本気で挑んできた人間模様や選手らが一つのことに打ち込む生き方などが伝わってきました。

その中で、多くの選手が応援してくれた関係者や家族に感謝している場面がありました。「blankがあったとき、落ち込んでいるとき、試合で負けたあと泣いているとき、家族は多くは語らず、静かにずっと見守ってくれていました」「自分のことを信じて応援してくれていました」といったコメントは、興奮している場面だからこそ真実を語っているのだと思います。我が子を強くし、我が子に温かい心、周りの者たちに感謝する気持ちを育ててきた親の姿勢についての大事なメッセージが含まれているようです。子どもを信じて見守ること、子どもから信頼される存在であること、そして子どものありのままを受け入れること、こうしたことは親と子どもとの関係だけでなく、教師と子どもとの関係に置き換えても重要な視点だと考えさせられます。

今後なお一層、新型コロナ感染防止の対応が求められます。今学期もお子さんの体調の変化などにも十分ご留意いただきますようお願いいたします。

6年 最高学年として

6年担任 川口 祐一

4月より「最高学年」として「大一の顔」と期待され、子どもたちはその言葉通りに張り切って委員会やクラブ、フレンドタイムに取り組んだ1学期でした。休み時間を使って準備をし、下級生の前では優しい言葉遣いで立派に活躍していた姿に、担任一同誇らしく微笑ましい気持ちでいっぱいでした。

またそれ以上に、子どもたちの精神面での大きな成長を感じた1学期でした。思春期真っただ中で難しい年頃であっても、以前に比べ不満を学級で出さないように心がけていたり、クラスメートの心ない言葉を上手に受け流すことができたりと、一歩も二歩も大人になりました。

2学期は、いよいよ小学校生活の集大成となります。大一体育祭や展覧会、フレンドまつりでは、6年生の活躍が鍵をにぎっています。子どもたちが思う存分輝けるよう、担任4人温かい目で支えていきます。大いにご期待ください。

5年 みんなが過ごしやすい町を目指して

5年担任 小池 絢子

5年生は、国語科の授業で「みんなが過ごしやすい町へ」の学習を行いました。この単元では、みんなが過ごしくなるために日常生活の中で行われている工夫を報告する文章を書きました。そもそもみんなとは誰のことをさすのかという視点で学習を進めていき、身の回りの家族や友達だけではなく、障がいのある方、妊婦さん、外国人、高齢者などたくさんの人たちが同じ環境のなかで生活していることを改めて確認しました。学習を通して目的や意図に応じて引用する文章を選んだり、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫したりする力が身に付きました。たくさんの知識を吸収し、さらに成長する5年生に期待しています。

4年 長く伸びろ。大きく育て。

4年担任 藤田 貴城

まだまだ暑い日が続いていますが、4年生の子どもたちは外で遊んだり読書をしたりと天候や自分の体調と上手に付き合いながら休み時間を過ごしております。そんな中、1学期からみんなで協力してヘチマとツルレイシの栽培をしてきました。「暑いから少し水を多めにあげよう」「雨だから今は水やりいらないね」など、様子を見ながら上手に世話をしていました。元気の良さだけでなく、心優しいところも4年生のいいところです。

2学期は、楽しみにしている行事が目白押しです。特にフレンドまつりで、下級生のリーダーとして活動していくことをとても楽しみにしているようです。高学年に向けてより成長していけるよう担任一同支えていきます。

絵や言葉で記録しました。



みんなも大きくなって
花開きますように。



3年 はじめての実験

3年担任 中元 早紀子

3年生から始まった理科学習では、これまでの生活で体験してきたことを観察や実験を通して科学的に捉える視点を養っています。7月は実験器具の車を自分たちで作り、風やゴムの力の実験を行いました。ゴムの力の実験では、ゴムを伸ばした長さ以外の条件に違いが出ないように気を付ける必要があります。子どもたちは一生懸命車の向きが正面以外を向かないように気を付けて実験していました。

2学期は音のふしぎについて学んでいきます。「なぜ」「どうして」を大事にしながら実験を通して考えを深めていきます。

2年 トウモロコシの皮むき体験

2年担任 岸田 淳生

島田青果さんにご協力いただき、トウモロコシの皮むき体験をしました。動画でトウモロコシがどのような育ち方をするのか、トウモロコシの皮のむき方を説明され、事前にお渡しした児童からの質問にも丁寧に答えていただきました。大ぶりのトウモロコシを手にした児童たちは説明されたとおりに皮をむきました。最初は様子を見ながらゆっくりと。慣れてくると根元まで一気にむいていました。ひげの多さに驚いている様子もありましたが、一本も残さないように注意しながら取っていきました。その後、給食では自分たちがむいたトウモロコシをおいしそうに食べていました。野菜のことを知り、見えないところでいろいろな人が関わっていることを感じられる体験でした。



1年 2学期もはいきて「よい、どん！」 1年担任 高橋 璃子

1年生は夏休みに入る前、生活科でタブレットを使って「こどもニュース」に取り組みました。テーマは「にゅうがくしてからできるようになったこと・たのしかったこと」です。字をきれいに書けるようになった、学校探検が楽しかった…など、学校生活の出来事を振り返って言葉にする姿に成長を感じました。

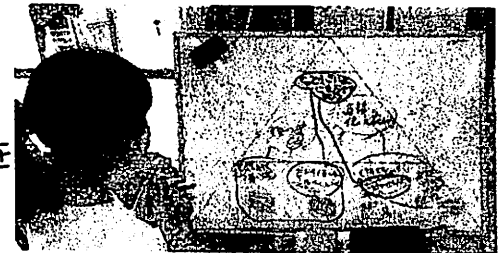
さて、長い夏休みが終わり新学期の始まりです。2学期はどんな楽しいことがあるか、どんな挑戦をするのか、1年生の様子を思い浮かべると私が楽しみになってきます。2学期も子どもたちの“わくわく”を大切に、学校生活を送っていきます。

～研究推進部より～ 思考力を高める本校の授業の特色

研究推進部副主任 5年梅組担任 曾根原 和明

思考力を高めるという研究テーマを掲げ、1年半が経とうとしています。5月号にて研究主任が目標として示した「友達同士で考えを比べたり整理したりする、自分たちで発見して結論を導き出していく、そのような学習」が、各学級で実現してきています。このような学習の変化を引き起こした本校の授業の特色を4点ご紹介します。

- (1) 様々な回答が想定される問題の設定
・唯一の正解のない問題に取り組むことで、友達と協力し、多様な情報を収集したり、それらを整理・分析したりする場を設けています。
- (2) 思考力の具体化
思考力を①広げる、②比較する、③分類する、④理由付けする・構造化すると具体化しています。そして、写真のような図を用いることで、思考力を発揮しやすい環境を整えています。
- (3) 学習の過程の振り返り
「はじめの自分の考えと比べて変わったこと」「友達の考えから学んだこと」「今までの学習で使えたことや新たに分かったこと」の三観点で学習の仕方を振り返り、次の学びに生かせるようにしています。
- (4) 考え合う関係性づくり
「違いを認め合う」「自治的に活動ができる」など、互いの考えを生かすことができる関係性を日頃から築き上げています。



これら4点を通して、社会に出てからも役立つ思考力を高めていきます。



年間重点生活目標「大一ABCを身に付けよう」

今月の生活目標

生活のめあて 廊下は静かに歩く ~廊下は静かに歩きましょう~

保健のめあて ハンカチとちりがみを身に付けよう

給食のめあて 正しく配ぜんしよう



9月の行事予定

日付	曜	主な行事	日付	曜	主な行事
1	水	始業式	16	木	
2	木	給食始	17	金	児童集会
3	金	委員会	18	土	
4	土	土曜授業日(参観なし)	19	日	
5	日		20	月	敬老の日
6	月	計測(1年) 夏休み作品展始(児童対象) 児童の学力向上を図るための調査(6年)	21	火	放送朝会
7	火	放送朝会 計測(2年) 児童の学力向上を図るための調査(5年)	22	水	フレンドタイム③ 体育祭応援団練習始
8	水	計測(3年) 品川教育の日 午前授業 児童の学力向上を図るための調査(4年)	23	木	秋分の日
9	木	計測(4年) 避難訓練 ハイパーQU(5年)	24	金	音楽朝会
10	金	計測(5年) クラブ(卒業アルバム撮影) 夏休み作品展終	25	土	
11	土		26	日	
12	日		27	月	体育祭係打ち合わせ①
13	月	計測(6年)	28	火	放送朝会
14	火	放送朝会	29	水	
15	水	午前授業	30	木	

○大井第一小学校中央トイレ等改修工事について

9月30日(木)までの予定で、中央トイレの改修及び学校の周りのブロック更新工事を行っております。限られたトイレ施設等の使用の約束や工事箇所への立入禁止などのきまりについて児童に指導し、工事業者の方と常時確認しながら安全に行っております。

○コロナによる行事等の変更について

8/26(木)に配信メールにてお知らせしました通り、緊急事態宣言の延長に伴い、行事等に変更があります。ご確認くださいませよう願いたします。

生活指導部より

生活指導部 山本 健

生活のリズムを取り戻しましょう

今日から2学期が始まりました。今年の夏も暑い日が続きました。また、暑さに加えて連日、新型コロナウイルス感染症にかかわるニュースが流れ、不安やストレスを感じる方も多かったと思います。そんな中、全員が無事に夏休みを過ごし、新学期を迎えることができたことをうれしく思います。

9月の生活目標は「廊下は静かに歩く」です。体育や専科の授業などで教室を移動するときに廊下を上手に歩くことができることを目指します。保健目標は「ハンカチとちりがみを身に付けよう」です。まだ暑い日が続くので汗をかきます。また、感染症予防のためにこまめに手を洗います。ハンカチをしっかり身に付けて衛生的な生活ができるようにしましょう。

自分のペースで生活できた夏休みが終わりました。規則正しい生活のリズムを取り戻して、元気に2学期をスタートしましょう。

「ルー・コラム」がかわる・創る

図工専科 森 はづき

図工室では1学期から展覧会に向けて、4、5、6年生が絵を描いたり立体作品をつくったりと一生懸命活動しています。今年度の展覧会のテーマは「形と色に向き合う時間 Oh1 Art Museum」ということで、形や色にこだわりをもって作品づくりに取り組むよう伝えていきます。「空の青と海の青の違いを表したいから...」「野球のボールを投げる瞬間の身体の形は...」など、子どもたちは試行錯誤を繰り返しながら作品と向き合い、自分の納得のいくように創りあげています。展覧会当日は、一人一人の子どもたちが心を込めてつくった作品の数々を体育館等に展示いたします。休み時間や放課後にも図工室に来て、黙々と取り組む子どもも多くいますので、できあがった作品を鑑賞していただくだけでなく、目には見えませんが、完成までの子どもたちの工夫や努力の跡を感じ取っていただければと思っております。